

ほけんだより 6月

令和8年5月28日
川崎市立南菅小学校
保健室 No.3.5

水ぼうそう(水痘)について

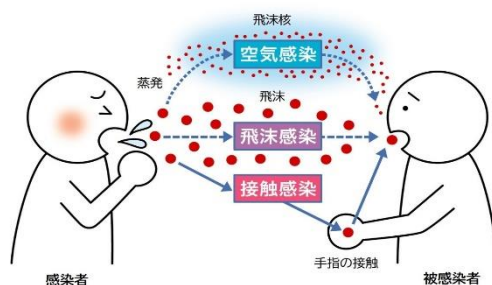
これからプール学習や宿泊行事が始まり、子どもたちが楽しみにしている活動が増えてくる時期となりました。一方で、人との関わりが増えることで、感染症にも注意が必要な季節です。その中でも、水ぼうそう(水痘)は感染力が強いため、早めの対応と予防が大切です。

水ぼうそう(水痘)ってどんな病気?

水ぼうそう(水痘)は、「水痘・帯状疱疹ウイルス」によって起こる感染症です。

感染力がとても強く、せきやくしゃみ、発疹の液体などからうつります。

一度かかると免疫ができますが、まれに大人になってから「帯状疱疹」として症状が出る事があります。



主な症状

- ・発熱
- ・赤い発疹
- ・水ぶくれ
- ・かゆみ



※発疹は、赤いブツブツ→水ぶくれ→かさぶたへと変化します。

頭や顔、体など全身に広がる可能性があります。

水いぼと間違えやすい!

「水いぼ」は、水ぼうそう(水痘)とは違う病気です。

水いぼ

- ・小さな丸いブツブツ
- ・発熱はほとんどない
- ・ゆっくり増える

水ぼうそう(水痘)

- ・発熱を伴うことが多い
- ・水膨れが全身に広がる
- ・かゆみが強い

※気になる発疹がある場合は、自己判断せず医療機関の受診をお願いいたします。

水ぼうそう(水痘)かなと思ったら

- ・無理をせず、早めに医療機関を受診しましょう
- ・受診前に「水ぼうそう(水痘)の疑い」があることを電話で伝えると安心です
- ・かきこわしを防ぐため、爪を短くしておきましょう

予防のポイント

- ・石けんでしっかり手洗いをする
- ・咳やくしゃみをするときは、肘で口元をおさえる
- ・タオルの共有を避ける
- ・十分な睡眠を取る
- ・バランスの良い食事を取る

※保護者の方へ

水ぼうそう(水痘)の予防接種を受けていても、かかることがあります。

予防接種をしている場合は、熱が出ないなど症状が軽いこともありますが、周囲へ感染する可能性があります。

発疹や水膨れなど、気になる症状が見られた場合は、早めに医療機関を受診してください。

受診の際は、事前に医療機関へ電話で相談いただくようお願いいたします。

、水ぼうそう(水痘)は、学校感染症のため出席停止となります。

登校の目安は、「全ての発疹がかさぶたになること」です。医師の指示に従い、無理をせず療養してください。

